

ね ん ど

2020年度

が く し ゅ う

て び

学習の手引き

ね ん せ い

3年生

も く じ

～目次～

が く し ゅ う て び せ つ め い
学習の手引きの説明 . . . p. 2

ほ ご し ゃ
保護者のみなさまへ . . . p. 2

はじめに . . . p. 3

か く き ょ う か
各教科より . . . pp. 4-13

ひ ょ う か
評価について . . . pp. 14-15

～学習の手引きとは～

この学習の手引きは、各教科の先生が、①授業への取り組み方、②学習方法、③評価(全教科まとめて最後に記載)について説明したものです。授業は学校生活の多くの時間を占めています。各教科の授業に積極的に取り組み、自分の力を伸ばしましょう。授業で学習した内容を身につけるためには、授業以外での学習も必要です。マラソン選手が、長い距離を走ることができるのは、毎日、走るトレーニングをしているからです。勉強も同じです。毎日、学習する習慣を身につけると、集中力が続くようになります。日々の努力は「なりたい自分」になる第一歩です。

保護者のみなさまへ

- ①「中学校では、宿題がないのですか」とご質問を受けることがあります。中学校にも宿題はあります。ただし、小学校とは異なり、提出する(教員が点検・評価する)までの期間が長く、一度に提出する量が多くなる傾向があります。そのため、計画的な学習が必要になります。
- ②豊川中学校は、中間テスト・期末テストに関するプリントを、原則、2週間前に配布いたします(休日や行事等の関係で、多少の前後はあります。配布後に豊川中学校メールマガジンでお知らせします)。提出物ものせております。ご家庭でも、テスト勉強および提出物の応援をよろしく願いいたします。

～はじめに～

1、生活のリズムを大切にしよう。

- ① 早寝早起きをこころがけよう。
- ② 食事をきちんととりましょう(脳はエネルギーを多く必要とします)。
- ③ 持ち物・提出物は前の日に準備しよう。

2、積極的に授業にとりくもう。

<p>授業の準備</p> <ul style="list-style-type: none">① 授業の準備をしてから休憩する② チャイム着席をする③ 服装をととのえる④ あいさつをしっかりする⑤ 最初の指示をしっかり聴く	<p>学びのルール</p> <ul style="list-style-type: none">① 取り組んでわからないときは、 班の人に「ここどうするの?」ときく② きかれたら、ていねいに説明する
---	--

授業では、わからないことがあるのはあたりまえです。人には得意・不得意があります。授業の準備と学びのルールを大切にしましょう。

3、家庭学習の習慣をつけよう。

- ① 必ず、宿題(提出物)に取り組もう。
- ② 集中できる環境づくりを意識しよう。
→テレビや動画を見ながらの学習は、記憶に残りにくい。
- ③ 毎日、学習しよう。
→宿題がなくても、自主勉ノートを使って学習しよう。
- ④ 自分にあった学習の方法を見つけよう。
→学習方法がわからないときは、教科の先生に相談しよう。

ねんせい こくご 3年生 国語

1. 教科書を繰り返し音読する。

予習としても、復習としても、テスト勉強としても、とても有効です。

2. 漢字テストを目標に、漢字を覚える。

試験範囲は読み10問、書き10問。練習プリントが毎回宿題で出ます。自主勉強ノートも使いましょう。特別な読み方や、紛らわしい漢字、同訓・同音の漢字は入試でも出やすいので、しっかり覚えていきましょう。

また、宿題を家庭ですることは基本です。学校で休み時間にあわててやっても、それは頭には入りません。(その場だけの記憶になって、定着しません。)

3. プリント類の整理

プリントは全て完成させてノートに貼るか、ファイルにとじて、なくさないようにしましょう。プリントは一人1枚だけしか配りません。なくしても再発行しません。名前を書くことを習慣にしましょう。

4. 読書をする。

国語力の基本は文章を読むことです。小説や新聞など、文章をたくさん読んでください。それがあなたの力になります。

5. 授業に積極的に参加する！

授業での課題に真剣に向き合い、授業中に自分で考え、他の人の

考えを聞くことを、積み重ねることで力がついていきます。

まえべんきょう テスト前勉強では

- 1 漢字プリントを使って、漢字を覚える。
- 2 授業プリント・ノートを見直す。
- 3 教科書の本文を覚える。(内容を頭に入れる)
- 4 古文や俳句・短歌は必ず覚える。

他にもやり方はいっぱいありますが、何からやればいいか分からない人は、とりあえずこれだけはやりましょう。一緒にがんばっていきましょう。

1、授業を大切にしよう。

せんせい なかま はなし しゅうちゅう き
・先生や仲間の話を集中して聴こう。

じぶん せっきよくてき しら はん ひと
・自分で積極的に調べ、わからないときは班の人に「ここどうするの」ときこう。

* 説明すると、覚えたり、わからないことに気づいたり、自分の考えがまとまったり、新しい考えがひらめいたりします。わかった人、わからなかった人の両方が力を伸ばすことにつながります。

・プリントは必ずファイルにとじよう。

2、授業の準備をしよう。

まえ ひ もちもの しゅくだい かくにん
・前の日に、持ち物・宿題を確認しよう。

きゅうけいじかん じゅぎょう じゅんび
・休憩時間に、授業の準備をしよう。

☆歴史:5点セット(ファイル・教科書・資料集・歴史のワーク・まとめ問題集)

☆公民:4点セット(ファイル・教科書・公民のワーク・まとめ問題集)

* 自分たちで調べたり、考えたりするので、忘れ物があると、自分や仲間、先生・・・みんなが困ります。わからなくなります。

3、自主勉強をしよう。

しゃかい か とく ふくしゅう ひつよう きょうか もんだい と
社会科は特に復習が必要な教科です。問題を繰り返し解こう。

①まず解いてみよう→「わかる」「わからない」をはっきりさせよう。

②すぐに答え合わせをしよう。

③わからないところを問題集の説明・解説や教科書で調べよう。

④わからないところは印をつけて仲間や先生に質問しよう。

→間違えた理由や答えが〇〇になる理由がわかるようになろう。

⑤わかったこと・学んだことを人に説明してみたり、紙に書いてみたりしよう。

* 他にも社会科に関係するテレビ番組、ニュースを見たり、本や新聞を読んだりしよう。歴史が苦手な人は、図書館で、日本の歴史の漫画を借りてみよう。

4、テストについて

・テストは、授業の内容・教科書・問題集、時事問題などから出題します。

* 教科書や授業で勉強した言葉を漢字で書けることも目指そう。

すうがく ちから
数学の力をつけるためのポイント



じゆぎよう たいせつ
① **授業を大切にする**

- ☆ 忘れ物をしない。
- ☆ 説明を聴くときと、班で授業プリントを仕上げるときの区別をつける。
授業の3点セットは《目・耳・心》！しっかり説明を聴こう。授業プリントは、班で協力して理解しながら仕上げましょう！
- ☆ わからないことは質問する。
説明を聞いてわからなかったことはそのままにしないで、班の人や先生にきいてその日のうちに理解することが大事！

かていがくしゅう ふくしゅう ちゅうしん
② **家庭学習をがんばる（復習を中心に！）**

- ☆ 宿題を必ずする。
授業で習ったときには分かっているつもりでも、何もしていないでいると時間がたてば忘れてしまうものです。宿題はその日に習ったことをもう1度復習するためのものです。必ず自分の力でやりましょう。
- ☆ 'レポートの習った範囲の問題を解く。
解答を見ないでまず自分の力で解いてみる。結果よりも途中の考え方や計算が大切。やった後はすぐに答え合わせをする。（せっかやくやっても、やりっ放しでは、自分の間違いに気が付かない。）間違えたものはすぐにやり直して、どこで間違えたのかを確認しましょう。

- ☆ 自主勉に取り組む。
さらに自主的に学習をしよう。自主勉ノートに、学校で学習をしたことをもう1度整理したり、教科書の問題をやることも大切です。テスト前には自主勉プリントを用意するので、活用しましょう。

0. 科学を意識する（心構え）

生活の中には、たくさんの科学が溢れています。素朴な疑問や不思議に思う事が、理科では大切な力です。理科では、たくさん実験をしようと思っています。楽しく前向きに取り組んでください。どうしてこの結果になるのかを考えたりします。日ごろから「どうして？」と疑問に思ったり、その疑問について調べたりしてみましょう。



1. 今までの内容も併せて振り返る。

中学校で習う理科は、多くが小学校の理科で習ったことを、もう少し専門的に習うのです。習ったことを使って、より深く学ぶようになります。今習ったことは、昔習ったことに繋がっていることがたくさんあります。習った時に、併せて復習をする癖をつけてしまいましょう。

2. 暗記に頼らない

暗記が必要な単元や単語もあるのは事実です。ただ、みんなの独創的な発想や、経験からくる説明の方が理科には必要です。知識を知恵にかえて、説明する能力を発揮するみんなに期待しています。

3. わかりやすく説明をする

理科は、簡潔に説明できるようになることが最終目標です。なぜなら、説明できるようになるには、知識を自分に取り込んでいないとできないからです。そして、この行為が応用問題を解くカギになります。

☆テスト前の勉強方法☆

①授業プリント → ②教科書 → ③白プリ & 学習整理

授業プリントでテスト範囲を簡単に思い出しましょう。教科書に載っている単語を知っているかチェック。白プリや学習整理で、分かっている度チェック。

※ 最後に…わからない所は、聞きましょう。

そうやって、少しずつわかる場所を広げましょう。



1. 授業について

「チャーム着席を守る」、「持ち物すべての準備を休み時間内にする」
「話をしっかり聞く」という基本的なところをまず大切にしよう。

また、配られたプリントは必ずファイルに挟んでいこう。

そして、一番大切なことは、授業に意欲的に積極的に取り組んでいこう!

2. 家庭学習・期末(筆記)試験対策について

試験では、教科書や配布プリントの内容を出します。プリントが配られたら、その都度取り組んだり、復習しておくのと試験前に焦らなくて済みます。また、そのタイミングでわからなかったことは教科書で確認したり、積極的に質問するようにしよう。提出物は必ず期限を守ろう。

3. 実技試験について

授業内に歌唱や器楽の実技テストを行います。

歌唱対策!

授業中に口を大きく開けて歌う。自信がなければ小さな声でもOK!のどを歌うモードに慣らしていく、というのが大切です。そうすると、のどがみんなの声に共鳴して少しずつ歌えるようになっていきます。歌うときはにこやかに♪

器楽対策!!

授業中に繰り返し吹こう。難しいフレーズは、短くして、ゆっくり、繰り返し練習しよう。いきなり全部吹こうと気負わなくても大丈夫です。小さなことからコツコツと。

4. 最後に

テレビやラジオでやっている音楽番組にチャンネルを合わせてみよう。
色々なジャンルの音楽をたくさん聴くことで、世界が広がりますよ。

持ち物

- ・中学生の音楽 2・3下
- ・中学生の器楽
- ・ファイル
- ・アルトリコーダー
- ・筆記用具



1. 学習する内容

学習する内容には、大きく分けて『絵画』『デザイン』『工芸』『彫刻』などの作品に『表現』する分野と『鑑賞』して学ぶ分野があり、1年生では週 1. 3 時間です。2・3年生になると週 1 時間になります。

回数が少ない分、ひとつひとつの取り組みを大切にしてほしいです。

2. 授業を受ける上での心構えと家庭でできること

① 上手く描こう、上手く作ろうではなく、人と違ったもの（個性的）を！という気持ちで、積極的に授業参加しよう！ たくさんの作品に触れることで、感性が豊かになります。友達同士で、または、家族で美術館・博物館にぜひ足を運んでほしいと思います。本物に触れることが大切です。画集をパラパラ観るのもいいですね。また、身近な仲間の作品から学ぶこともできます。

② 作品完成までの過程を大切に、その時間の目標を明確にしよう！
手の遅いことは、悪いことではありません。でも、期限を守らないことは、いけないことです。期限を守って提出しよう！

③ 授業への集中力と持続するための意志が大切です。そのためにも人の話を聴く力をつけよう。

④ 準備物をしっかり用意しよう！

⑤ 自分の作品、仲間の作品を共に大切にしよう！持ち帰った作品は、部屋に飾ったり、実際の生活の中で使ってみよう。

3. 評価について

完成作品のみで評価するわけではありません。完成までの過程（下描き提出・途中提出があります。）・授業への取り組み（チャイム着席・忘れ物・美術ファイルなど）
・ペーパーテストなども含み、総合評価とします。



4. 美術の教科でつけてほしい力

① よさや美しさに向かおうとする心
自分の思いを深めたり感覚を研ぎ澄ませたりしながら、よさや美しさを考えて、表したり感じ取ったりし、伝え合うことができるようにしよう。

② 失敗を乗り越える力
何度失敗しても次の方法を考え、挑戦する。制作をしながら、失敗を乗り越えるたくましさをつけてほしいと思います。

じゅぎょう 授業について

- 実技では、体操服、体育館シューズ。保健では、教科書2冊、ファイルを忘れず授業に参加しよう。
 - 1人1人の「やる気」が大切です。何事にも一所懸命取り組みよう！
 - 協力や学び合いをしながらみんなで上達していこう。
 - 更衣を早くすませて授業に遅れないようにしましょう。
 - 授業中は集中し、緊張感をもって活動し、ケガや事故に気をつけよう。
 - 苦手な種目や苦しいことから逃げずにがんばる力を身につけよう。
 - 見学の時は、保護者の方に生徒証明書（れんらくらん）の連絡欄に理由（りゆう）を記入し、印鑑（いんかん）を押してもらい、提出（ていしゅつ）して下さい。
 - 原則（げんそく）、見学者（けんがくしゅ）も体操服（たいそうふく）に着替（き）えましょう。
 - 見学の時は事前（じぜん）に先生（せんせい）に報告（ほうこく）し、見学者カード（けんがくしや）を記入（きんじゆう）して、提出（ていしゅつ）して下さい。
- ⑨ 体操服（たいそうふく）の下（した）に長袖（ながそで）のアンダーウェア（あんだーうゐあ）の着用（ちやくよう）は認め（みと）めません。

かていがくしゅう 家庭学習について

- 自分（じぶん）の健康管理（けんこうかんり）をできるようにしよう！
- ① 適度（てきど）な睡眠（すいみん）をとる。目安（めやす）は7時間（じかん）～8時間（じかん）。（早寝（はやね）・早起（はやお）き）
- ② 毎朝（まいあさ）かかさず朝食（ちょうしょく）を食べよう。
- ③ バランス（ばらんす）の良い（よい）食事（しょくじ）。（好き嫌い（すききら）をなくす。間食（かんしょく）しすぎない）
- ④ 適度（てきど）な運動（うんどう）をする。
- 健康（けんこう）、スポーツ（スポーツ）に関する（かん）テレビ（てれび）を見たり、記事（きじ）、本（ほん）などを読（よ）んだりして自分（じぶん）の生活（せいかつ）や体（たい）力（りき）づくりに役（やく）立（た）てよう。

テストについて

- 1学期末（がっきまつ）、2学期末（がっきまつ）、学年末（がくねんまつ）の定期（ていき）テスト（ペーパーテスト）があります。
- 内容は、授業（じゅぎょう）プリント、授業（じゅぎょう）中の板書（ばんしょ）、教科書（きょうかしょ）から出題（しゅつだい）します。
- * 苦手（にがて）な種目（しゅもく）、得意（とくい）な種目（しゅもく）は人（ひと）それぞれです。できない（できない）ことは恥（は）ずかしいことではありません。この1年（ねん）で自分（じぶん）の得意（とくい）種目（しゅもく）を増（ふ）やしましょう。

ぎじゅつぶんや ＜技術分野＞

こんねんど ぎじゅつ がっき がっき ねんせい じょうほうぶんや じゅぎょう おこな
今年度の技術は、2学期から3学期にかけて、3年生は情報分野の授業を行います。
ぎじゅつ じつぎかもく べんきょう お じっせん じっさい つく そだ
技術は実技科目なので、勉強だけでは終わらず、実践(実際に作ったり、育てたりすること
がある)教科になります。得意な人は、是非友達に力を貸してあげてください。ただし、
やくそく
約束があります。

てつだ い てつだ つめ き
「手伝ってと言われたことだけ、手伝う。」です。もしかしたら冷たく聞こえるかもしれませ
んが、自分が、今から一生懸命に木を切ってみようと思っている所に、「やったるよ！」と
いって、横からノコギリをとられて、切られたら、どう思いますか?? 気持ちさがりません
か??

てつだ ほ とき てつだ ほ てつだ おとな しょうこ みな
手伝って欲しい時に、手伝って欲しいことだけを手伝えるのは「大人な証拠」です。皆さん
の大人度に期待しています。

べんきょう じゅんぱん べんきょう
テスト勉強について。①・②・③の順番で勉強をしてください。

- ① しっかり授業を聴く。
- ① プリントに出てきた、重要語句(大事な言葉)を覚える。
- ② 教科書の範囲にある太文字を覚える。
- ③ ①と②も語句(言葉)の説明ができるようにする。

かていぶんや ＜家庭分野＞

こんねんど かていか がっき がっき ねんせい かぞく かてい こ せいちょう
今年度の家庭科は、1学期から2学期にかけて3年生は「家族・家庭と子どもの成長」と
ようじ たいけん おこな かていか じっせんてき たいけんてき がくしゅうかつどう とお せいかつ
「幼児ふれあい体験」を行います。家庭科は実践的・体験的な学習活動を通して、生活
じりつ ひつよう ちしきおよ ぎじゅつ しゅうとく
の自立に必要な知識及び技術を習得します。

かていか ききるい はものるい でんき かき と あつか じっしゅう
家庭科では、機器類、刃物類、電気、ガス、火気などを取り扱って実習するため、
あんぜん き と あつか ちゅうい
安全に気をつけて取り扱うよう注意してください。

べんきょう じゅんぱん べんきょう
テスト勉強について。①・②・③の順番で勉強をしてください。

- ① しっかり授業を聴く。
- ① 教科書をよく読み理解する。
- ② 教科書の範囲にある太文字を覚える。
- ③ プリントの復習をする。

えいご ぶくしゅう
英語は復習！

- ① 授業に集中 特にペアや班学習での音読練習を大切にしよう。
② 自主勉ノートを中心に前向きな気持ちで家庭学習に取り組むことで
メキメキ英語力がアップします。

じゅぎょうへん
A: 授業編

- ① 先生の口元を見て、よく音を聞こう
・・・耳をすませて、どんな口のかたちで音が出ているのか観察しよう。
② くり返し、まねて言う練習をしよう
・・・単語でも文でも歌でもまずは口まねからスタート。
③ 教科書などの文を大きな声で何度も読もう
・・・先生や音声モデルのあとについて大きな声で読み、
身体にリズムをしみこませる。
④ 何度も書く練習をしよう
・・・授業中ノートに英語を書く時は心の中で発音しながら書いて
つづりを覚える。書かないと覚えられません。
⑤ まちがいを気にしないで表現しよう
・・・まちがうのは当たり前。ペアや班の活動でも、
はずかしがらずにどんどん英語を使いましょう。
実際に使っていくのが英語力アップの基本です。

かていがくしゅうへん
B: 家庭学習編

- ① 宿題などをする時も授業を思い出し、単語・英文など声に出して何度も繰
り返しながらかく練習をしよう。
② 宿題は最低限の課題。さらに自主勉ノートを使って、学習を確実なものに
していこう！

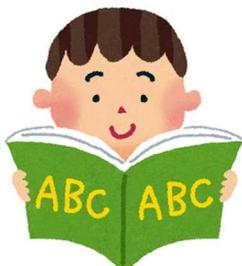
- たとえば・・・1) 単語や文を覚えるまで何回も練習する。
- 2) 授業で習った表現を使って自己表現にチャレンジしてみる
- 3) 問題集でまちがったところをもう一度解いてみる。
- 4) 授業で習ったことをまとめる
- 5) 教科書の英文をもう一度自分で訳してみる・・・などなど
 (自主勉ノートについて詳しいことはプリントや授業で紹介しています)

自主勉ノートのいいところは、

- ★自分で「自分はここが弱い!」という課題を選んで取り組めるところ
 - ★自分に合った分量を自分自身で決めて取り組めるところ
 - ★前向きな気持ちで、楽しみながら取り組めるところ
 - ★イラストや写真を使って、ノートを工夫して学習を楽しめるところ
 - ★がんばればがんばるだけ結果が出て、英語力がぐんぐんついていくところ
 - ★みなさんの勉強方法を見せてもらってアドバイスができること・・・
- などなどたくさんあります!

- ③チャンスを見つけて、生の英語にどんどん触れよう
- ・・・映画を英語(日本語字幕)で見してみる。洋楽を聞いてみる。
- 意外とわかる単語があるかも。
- チャンスはたくさんあります。自分の興味あるところからはじめてみましょう。

Let's enjoy English!!



1、各教科に共通すること

①通知表に記載される評定は1～5の5段階です。各学年、各教科の評定が、公立高校の特別選抜・一般選抜で利用されます(いわゆる「内申点」です)。

②評定は各観点(国語は5観点、他は4観点)の総合によって決まるしくみになっています。

*各観点の重みは同じです。例えば、関心・意欲・態度の観点は、授業への取り組みや提出物・宿題などで、知識・理解の観点は定期テストで評価されることが多くなりますが、関心・意欲・態度と知識・理解の観点がそれぞれ同じ重みをもつため、テストが高得点でも、未提出物が

あれば、評定は伸び悩むこととなります。逆にテストで力を発揮できなかった場合でも、授業に熱心に取り組む、提出物を頑張ることで、一定の評定が出るしくみになっています。なお、観点内での評価材料の比重は異なります(定期テストが1つの小テストより配点が多いなど)。

2、教科別観点ごとの評価材料

①国語

関心・意欲・態度	授業への取り組み、授業中のプリント、ノート・ファイル・白プリ提出、漢字の宿題、長期休業中の宿題
話す・聞く	聞きとりテスト、スピーチ・グループ発表、ディスカッション、暗唱
書く	定期テスト、作文、創作(俳句など)
読む	定期テスト
言語事項	定期テスト、小テスト(漢字、文法、古文・漢文の分野)

②社会

関心・意欲・態度	授業への取り組み、授業中の課題、ワークなどの問題集、長期休業中の宿題
思考・判断表現	授業中の課題、定期テスト
技能	授業中の課題、定期テスト、長期休業中の課題
知識・理解	小テスト、定期テスト

③数学

関心・意欲・態度	提出物・授業プリント
思考・判断表現	小テスト・定期テスト・テスト直し
技能	小テスト・定期テスト
知識・理解	小テスト・定期テスト

④ 理科

いよく かんしん たいど 意欲・関心・態度	じゆぎよう とく じゆぎようちゆう もんだいしゆう ちようききゆうぎようちゆう しゆくだい 授業への取り組み、授業中のプリント、ワークなどの問題集、長期休業中の宿題
かがくてき しこう ひようげん 科学的な思考・表現	ていき じゆぎようちゆう しこう もんだい 定期テスト、授業中のプリントでの思考問題
かんさつ じっけん ぎのう 観察・実験の技能	ていき じっけん かんさつ しせい じっけん かんさつ かん もんだい 定期テスト、実験や観察をしたときの姿勢、実験や観察に関する問題
ちしきりかい 知識理解	ていき しょう もんだい 定期テスト、小テスト、プリントの問題

⑤ 音楽

かんしん いよく たいど 関心・意欲・態度	じゆぎよう とく ていしゆつぶつ じつぎ ていき 授業への取り組み、提出物、実技テスト、定期テスト
おんがくひようげん そういくふう 音楽表現への創意工夫	ていしゆつぶつ じつぎ ていき 提出物、実技テスト、定期テスト
おんがくひようげん ぎのう 音楽表現の技能	じつぎ 実技テスト
かんしょう のうりよく 鑑賞の能力	ていしゆつぶつ ていき 提出物、定期テスト

⑥ 美術

かんしん いよく たいど 関心・意欲・態度	じゆぎよう とく ていしゆつぶつ じゆぎよう ふ かえ じゆぎよう 授業への取り組み、提出物、授業の振り返り、授業プリント
はっそう こうそう のうりよく 発想 構想の能力	ていき さくひん こうせいりよく はっそうりよく じゆぎよう 定期テスト、作品の構成力・発想力、授業プリント
そうぞうてき ぎのう 創造的な技能	ていき さくひん かんせいど ぎじゆつりよく じゆぎよう 定期テスト、作品の完成度・技術力、授業プリント
かんしょう のうりよく 鑑賞の能力	ていき さくひんかんせい かんしょう 定期テスト、作品完成レポート、鑑賞プリント

⑦ 保健体育

かんしん いよく たいど 関心・意欲・態度	じゆぎよう とく ふ かえ かんそう ていしゆつぶつ 授業への取り組み、振り返りシート(感想)、提出物、ノート
しこうはんだん 思考判断	ふ かえ 振り返りシート
ぎのう 技能	じつぎ 実技テスト
ちしきりかい 知識理解	ていき 定期テスト

⑧ 技術家庭

かんしん いよく たいど 関心・意欲・態度	じゆぎよう とく くだい ちようききゆうぎようちゆう しゆくだい 授業への取り組み、プリントや課題、長期休業中の宿題などを じかんない ていしゆつ ていき 時間内に提出すること、定期テスト
そういくふう 創意工夫	じゆぎようちゆう くだい さくひん ていき 授業中の課題、作品のオリジナリティー、定期テスト
ぎのう 技能	じっしゆうじ さくひん かんせい ていき 実習時作品の完成、定期テスト
ちしきりかい 知識理解	しょう ていき 小テスト、定期テスト

⑨ 英語

かんしん いよく たいど 関心・意欲・態度	じゆぎよう とく じゆぎようちゆう くだい もんだいしゆう ちようききゆうぎようちゆう しゆくだい 授業への取り組み、授業中の課題、ワークなどの問題集、長期休業中の宿題
ひようげん 表現	じゆぎようちゆう くだい ていき 授業中の課題(スピーチ、暗唱テスト)、定期テスト
がいこくごりかい のうりよく 外国語理解の能力	しょう ていき 小テスト、定期テスト
げんご ぶんか ちしきりかい 言語・文化の知識・理解	じゆぎようちゆう くだい ちようぶん ていき 授業中の課題(長文シート)、定期テスト